

杉山あつしだより

発行者：杉山あつし（静岡県議会議員）
第4号（2020年3月31日発行）

静岡市駿河区泉町1-12-202
電話 054-204-1098 FAX 054-204-1099



ご挨拶

2019年は台風による風水害が多い年でした。浜川周辺も床上浸水などの被害に見舞われ、安倍川「河川敷グランド」も多くが使用不能となる被害を受けました。国の2020年予算では、河川の土砂を取り除く「浚渫(シュンセツ)」に多くの予算が付きましました。県予算でも水害防止のために浚渫を予算反映すべく提言していきます。2月には国土交通省静岡河川事務所の次長から安倍川の土砂除去で説明を受けました。

2月入り新型コロナウイルスの問題が日本を大きく揺るがしています。3月に入り、小中高が臨時休校となりました。一日も早い終息となるよう県議会としても協力しています。

地元の活動では、富士見小・通学路での危険個所の通行量調査、PTAの当番日でない日の通学時の旗振りも始めました。

2月13日には杉山あつし事務所主催で県立大学・津富宏教授を講師に「誰も置き去りにしない、若者就労支援から見えてきたもの」と題した学習会も開催することができました。

思えば立候補を決意した1年前は、12月から4月7日の投票日まで心身ともに忙しい日々を過ごしました。当選後も1期生議員として様々な活動に取り組みました。元日に再認識した「世の中を良くしたい」との初心を忘れず2年目も益々頑張っていきたいと思います。皆さまからの提言、ご意見をお待ちしています。

●安倍川河川敷の水洗トイレと手洗い場設置の遅れを痛感 県内視察で確認

安倍川河川敷の水洗トイレは安倍川橋の一か所しかありませんが、天竜川などの河川敷を視察し、実に水洗トイレが多いことがわかりました。



また、国土交通省に問合せると、

- ①水洗式(あるいはバイオ式)トイレを推奨する、
- ②トイレ内の照明及び手洗い場等の設置に配慮されたものとする

との指針(H19年4月)があることが判明

手洗いが感染症予防に有効とされており、静岡市に水洗トイレと手洗い場設置を要請していきます。

●富士見台公園建設の要望集約・意見交換のワークショップ (1/10)

地元富士見台1.2丁目大規模公園の来年度建設が内定し、仮称富士見台公園の地元要求を集約する会合(ワークショップ方式)に参加しました。「築山がほしい、水とふれあいの水路がほしい」などの意見が出されていました。地元の要望が実現するよう頑張ります。

●富士見小学区清掃活動

ハウマッチ主催ゴミ拾いウォーキング (1/25)

ブックオフなどを経営するハウマッチ主催のゴミ拾いウォーキングに参加しました。「ブックオフ産業館西通り店～登呂遺跡～戻る」コースを、2時間かけ地元の方とゴミを拾いながら楽しく健康的に歩きました。



●丸子宿場まつり 長田西小学区の皆さんのパワーを感じたお祭り（2/23）



第21回丸子宿場まつりに、来賓として招待され参加しました。主催団体NPO法人丸子まちづくり協議会の近藤武理事長は青少年就労支援を考える集会に参加していただいた方で、お知り合いをご紹介いただきました。地元の方々が中心となり姫様道中や、出店、餅つき、菓子まきなどで盛り上げ、参加運営している素晴らしい住民参加型のお祭りでした。むかご入りのたこ焼き(タコ抜き)や、とろろ揚げ入りのそばを美味しくいただきました。また長田西小PTAのバサーでハンカチなどの小物、地元農家から野菜類を購入しました。

●路上生活者の年越し支援、餅つき（12/28）、雑煮会（1/3）に参加

しずパトは毎月1回ホームレスの方を訪問し、ゆで卵を配りながら健康確認を行っている団体です。駿府城公園で、毎年年末に餅つき、年始に雑煮会をしているそうです。静岡大学・笹沼教授の紹介で初参加しました。野宿者の方が15人程度参加していました。餅つきには駿府城公園に来た外国人観光客も参加してくれました。ホームレス支援の活動に頭が下がります。



●競争、入札制度を形骸化するPFIの学習会 自治体議員政策研究会・静岡（2/11）



自治体議員政策研究会のPFI学習会に参加。地方自治総合研究所の菅原敏夫さんの「PFIの諸問題」の提起を受けました。

内閣府が推奨するPFI制度による施設整備は、建設よりも運営で利益を得る制度で、「給食センターでは食品卸大手の東洋食品とシダックスの受注が増加した」「運営権の入札が不要となる、小規模企業が参加できない」「競争がなくなる」などの問題点には驚きました。

原発事故を風化させない

浜岡原発を考える静岡ネットワーク(浜ネット)の県原子力安全対策課への申入れ・意見交換に参加しました。参加者からは浜岡原発に対する反対の思いや原発震災の危険性を訴えました。杉山からは、8年以上中部電力管内は原発ゼロで電力が供給されていること、東南海地震の震源域に立地していることを踏まえて対応すべきと伝えました。福島原発事故により、いまだ自宅に戻れない避難者が4万人以上いることを忘れず、原発事故被害を風化させてはいけません。

●放射線被害から子どもを守るには 福島子ども支援基金 講演会（2/9）

●浜ネットによる県への申入れに同席（2/5）



福島子ども支援基金の講演会に参加。福島県沿岸部では、子どもたちが利用する公園でも放射線量の高いところ(ホットスポット)が残っていますが、子どもが利用することで安全であるとアピールされていることなどの問題点を学びました。

杉山あつし事務所主催

●誰も置き去りにしない～若者就労支援を考える集会（2/13）



県立大・津富宏教授

県立大学・津富宏教授を講師に「誰も置き去りにしない、若者就労支援から見てきたもの」と題した学習会を開催し、45名の方に集まっていただきました。自治体から委託を受け、若者の離職や就職氷河期の課題解決に向けNPO青少年就労支援ネットワークを立ち上げ就労につなげている取組みと、その背景を学習しました。人を助けたいと考えている人も多く、その対象者をどう結びつけていくのか、就学前教育などに対し、日本はもっと教育にお金をかけるべきということを学びました。

●気軽に相談できるサポステ （静岡地域若者サポートステーション）を訪問（2/26）

「誰も置き去りにしない、若者就労支援を考える集会」で講演していただいた県立大学・津富宏教授が代表を務める「静岡地域若者サポートセンター」（清水テルサ2階）を訪問。静岡型伴走就労支援の現場を見学させていただきました。突然の訪問ですが、友枝静佳さん以下専従スタッフ3名と有意義な意見交換ができました。旧静岡市の就労先が不足気味、今後いろんな場で話題にしながら支援していきます。



●夜間中学ってなんだ 夜間中学映画「こんばんわII」上映会&ワークショップ（1/18）

夜間中学の映画「こんばんわII」上映会とトーク&ワークショップに参加、文科省が各県一つは設立するよう指示があるものの、静岡県にはない夜間中学。貧困や不登校による形式卒業など実際には学校で勉強できなかった方、さらに母国で学校に通えていない日本に帰化した人などの受け皿になっています。静岡県での開設に向けた課題を学びました。

●学校や家庭にはじかれた子どもの交流・休息の場 子ども食堂セミナーに参加（12/26）

38歳で県職員を退職、子どもの通う施設「おもしろ荘」（富士市）を運営しているNPO法人ゆめまちネットの渡部達也さんが開催した「こども食堂セミナー」に参加しました。こどもが加害、被害者となる事件の新聞記事を解説しながら、現在の子どもが置かれている状況を確認し、最後にそのような学校や家庭に馴染めない、はじかれた子どもの受入先としてのこども食堂の役割を丁寧に説明していただきました。



イスラム教モスク内で記念写真



●駿河区広野のイスラム教モスクを訪問（2/19） 多文化共生、イスラム教をめぐる問題を学習

県議会会派合宿で、2019年9月駿河区広野にできたイスラム教のモスクを見学しました。イスラム教に対する偏見によりISのテロの時期に苦労したこと、女性のマフラーで顔を隠すことは、女性を無用な男性からの視線から守る女性を守る・大切にしている行為だということ学びました。多文化共生は県政の大切な課題です。

●清水庁舎移転の住民投票条例制定署名街頭宣伝活動 計画の再検討が必要です

1月末から定期的に清水庁舎移転の住民投票条例制定署名街頭宣伝活動に参加しています。昨年9月に静岡市議会で築36年の清水庁舎(旧清水市役所)を壊し、桜ヶ丘病院の移転予定地とすることが決定されました。その後桜ヶ丘病院が地域医療構想での再編・統合の対象となったため2020年6月から県の調整会議で桜ヶ丘病院の今後の役割・規模を協議する予定です。仮に統合対象となれば病院移転の必要はなくなります。静岡市の皆さんぜひ関心をお持ちください。



●静岡市少年ソフトボール年間表彰式で挨拶 (2/11)

日頃から小学生の健全育成で活躍している「静岡市少年ソフトボール協会」の年間表彰式に参加し挨拶させていただきました。10年前当時の監督さん、父母会の方が今も活躍されていて励まされました。チーム数が当時の3分の2と減り苦勞が多いようです。大変です。

●国の歳出削減・地域医療の切り捨て 医療・病院・介護問題セミナーに参加 (2/1)

「第9回医療・病院・介護問題セミナー」(東京・日本橋公会堂)に参加しました。人口減少に向けて公立・公的病院を中心に再編・統合を目的とした「地域医療構想」の問題点を掘り下げた講演を聞き、病院ベッドを絞り込み、国の支出を減らすことなど改めて認識させられました。9月に再編・統合の対象病院として公表された病院では、医師などの採用辞退も報告されており、すでに大きな影響が出ています。介護では家族のない方の入所については死亡の際、葬儀など様々な問題があること、人手不足により施設の廃業・倒産が増加しているなどの深刻な実態を学びました。議員の参加が多い集会で、交流を深めました。



編集後記

3月9日県議会総務委員会にて、経費削減・事業の廃止縮小の質問で、「衆議院補欠選挙の速報システム費300万円は、当選確実の報道があるので不要ではないか」「毎年開催の大規模集会・大会を2年に一度にするなど検討すべき」と提案した。大会集会の2年に一度については検討したい旨の回答があったが、選管の選挙速報廃止は否定された。テレビで当選確実が出た後も県選管は速報を出している。金も人もかける意味を見出せない。これからも不要な事業廃止を提案していきたい。

募集しています

- 街頭県政報告の際の旗持ちや、郵便物発送準備などの簡単なお手伝いをしてくださる方
 - ご自宅やお勤め先などに、杉山あつしのポスターの掲示をさせていただける方
 - 杉山あつしを囲むミニ集会を開きたい！杉山あつしの話をもっと聞きたい！という方
- ご協力いただける方、ご要望、お問い合わせなどは、以下の事務所までお寄せください。



■杉山あつし事務所

静岡市駿河区泉町1-12-202
TEL:054-204-1098 FAX:054-282-0143
携帯電話:090-1279-1443

MAIL:info@sugiatsu.com

■静岡県職員組合(出身組合)

静岡市葵区追手町9-6県庁内
TEL:054-221-2186 FAX:054-221-3574

■杉山あつしの活動等は

公式HP・フェイスブック・ツイッターでご覧いただけます。

